

# 人権福祉体験学習を行いました

7月15日（金）の5・6校時に社会福祉協議会の方をお招きして、人権福祉体験学習を行いました。今回は雨天だったため、どの体験も校内での学習となりました。

1年生は、2人1組になって1人がアイマスクを付けて視覚障がい体験を、そしてもう1人は誘導の体験をしました。アイマスクをすると、平らな障がい物のない廊下を歩くことにも椅子に座ることにも不安を感じ、特に階段の上り下りにはとても恐怖感があったよ



うです。また、視覚障がいの方の誘導では、何がどこにあって、どちらにどのように進むのかなどの指示やその指示を出すタイミングなども難しかったと感じた生徒もいました。

2年生は、車椅子を利用する人と介助する人に分かれて車椅子体験を行いました。

車椅子体験では、サポーターがないときの坂道や段差、細い通路の走行が大変と多くの生徒が実感していました。

また、スーパーでの買い物を想定した体験では、棚の上に



あるものを探したり、それを取ったり、また低いものを取ったりしてみましたが、今まで想像したことのない苦労がわかったようです。

3年生は、手足におもりをつけ、肘・膝・腰が伸ばせないような装具、また白内障のような見え方をするゴーグルを付けて、高齢者疑似体験を行いました。校舎内の廊下や階



段を移動したり、ラジオ体操をしてみました。さらに今年は、広告の写真から商品を見つけて、その額面を紙幣や小銭を使って揃えたりする



体験もしてみました。高齢者の方が移動したり、買い物でお金を出したりするのに時間がかかるのも理解できました。また、今回も村内在住の高齢者の方にも参加していた

だき、高齢者の方の生の声を聞き、共感すると同時に高齢者の方への接し方も改めて考え直すことが出来ました。

どの学年もこの体験を通して、障がいのある方や高齢者の方がどんなことが大変でどんな支援を必要としているのか、そして自分には何が出来るかを考える機会となりました。これからは自分が出来ることを意識しするだけでなく、勇気をもって声をかけて行動に移して行って欲しいと思います。